子ども・子育て支援事業の進捗状況（１）

教育・保育の量の見込みと確保の内容

事業名	単位	平成28年度 計画数値 A ニーズ量	B 確保方策	B-A	実績見込み C 実際のニーズ量（利用希望者数）	D 実際の確保方策	E 実際の利用者数	評価 実際のニーズ量／計画上の確保方策 C／B	◎：90%～110% ○：70%～90%又は110%～130% ×：～70%又は130%～	実際の確保方策／計画上の確保方策 D／B	◎：100%～130% ○：70%～100% ×：～70%又は130%～	実際の利用者数／計画上の確保方策 E／B	◎：100%～130% ○：70%～100% ×：～70%又は130%～	実際のニーズ量／実際の確保方策 C／D	◎：70%～100% ○：100%～130% ×：～70%又は130%～	評価コメント	今後の方針	（参考）平成27年度 評価 実際のニーズ量／計画上の確保方策 C／B	◎：90%～110% ○：70%～90%又は110%～130% ×：～70%又は130%～	実際の確保方策／計画上の確保方策 D／B	◎：100%～130% ○：70%～100% ×：～70%又は130%～	実際の利用者数／計画上の確保方策 E／B	◎：100%～130% ○：70%～100% ×：～70%又は130%～	実際のニーズ量／実際の確保方策 C／D	◎：70%～100% ○：100%～130% ×：～70%又は130%～
1　１号認定（認定こども園及び幼稚園）	人	1,400	1,527	127	1,374	1,527	1,374	89%	○	100%	◎	89%	○	89%	◎	幼稚園の収容定員1,527人を確保方策と設定し、利用希望者を全て受け入れることができた。	当面は現状の確保方策を維持するように幼稚園と調整を図っていく。	89%	○	100%	◎	89%	○	89%	◎
(内訳)１号認定		1,149																							
２号認定（幼稚園希望者）		251																							
特定教育・保育施設																									
確認を受けない幼稚園			1,527			1,527	1,374																		
2　２号認定（認定こども園及び保育所）	人	3,385	3,698	313	3,706	3,699	3,642	100%	◎	100%	◎	98%	○	100%	◎	実際の確保方策よりも利用者数が50名以上下回る結果となった。昨年度の実際の利用者数と比較しても80名以上の減少となった。	今後は利用者が減少する見込みのため、増加傾向の３号認定の確保方策と調整を図っていく必要がある。	102%	◎	100%	◎	100%	◎	102%	○
(内訳)東部		684	747	63	739	777	730	98%	◎	104%	◎	97%	○	95%	◎			102%	◎	104%	◎	101%	◎	98%	◎
南部		856	935	79	951	961	941	101%	◎	102%	◎	100%	◎	98%	◎			102%	◎	102%	◎	100%	◎	99%	◎
西部		821	897	76	884	932	869	98%	◎	103%	◎	96%	○	94%	◎			104%	◎	103%	◎	102%	◎	100%	◎
北部		1,024	1,119	95	1,132	1,029	1,102	101%	◎	91%	○	98%	○	110%	○			100%	◎	91%	○	98%	○	108%	○
3　３号認定（認定こども園及び保育所＋小規模保育等）	人	1,410	1,271	▲ 139	1,392	1,249	1,272	109%	◎	98%	○	100%	◎	111%	○	実際のニーズ量に対して確保方策を満たすことができなかったが、利用希望者のうち120名が辞退したため、いわゆる待機児童は発生しなかった。 ０歳は、確保方策よりも20名程度上回る人数を受け入れることができた。なお、面積基準と保育士配置基準は満たしている。 １・２歳は、実際の確保方策と同程度の利用者数となった。	必要量確保のため、職員確保や施設改修等受入基盤の整備を行うとともに、幼稚園の認定こども園への移行、小規模保育事業への事業参入を促していく。	106%	◎	100%	◎	98%	○	106%	○
(内訳１)０歳		129	114	▲ 15	147	115	134	128%	○	100%	◎	117%	◎	127%	○			96%	◎	100%	◎	78%	○	96%	◎
特定教育・保育施設			114			107	128			93%	○	112%	◎							100%	◎	78%	○		
特定地域型保育事業			0			8	6																		
認可外保育施設			0			0	0																		
１・２歳		1,281	1,157	▲ 124	1,245	1,134	1,138	107%	◎	98%	○	98%	○	109%	○			106%	◎	100%	◎	100%	◎	106%	○
特定教育・保育施設			1,157			1,118	1,129			96%	○	97%	○							100%	◎	100%	◎		
特定地域型保育事業			0			16	9																		
認可外保育施設			0			0	0																		
(内訳２)０歳		129	114	▲ 15	147	115	134	128%	○	100%	◎	117%	◎	127%	○			96%	◎	100%	◎	78%	○	96%	◎
東部		21	15	▲ 6	20	16	20	133%	×	106%	◎	133%	×	125%	○			141%	×	133%	×	108%	◎	106%	○
南部		35	34	▲ 1	48	32	44	141%	×	94%	○	129%	◎	150%	×			79%	○	94%	○	73%	○	84%	◎
西部		27	26	▲ 1	30	18	26	115%	○	69%	×	100%	◎	166%	×			88%	○	69%	×	61%	×	127%	○
北部		46	39	▲ 7	49	49	44	125%	○	125%	◎	112%	◎	100%	◎			102%	◎	117%	◎	85%	○	87%	◎
１・２歳		1,281	1,157	▲ 124	1,245	1,134	1,138	107%	◎	98%	○	98%	○	109%	○			106%	◎	100%	◎	100%	◎	106%	○
東部		248	222	▲ 26	245	211	225	110%	◎	95%	○	101%	◎	116%	○			106%	◎	100%	◎	99%	○	106%	○
南部		382	346	▲ 36	335	322	306	96%	◎	93%	○	88%	○	104%	○			96%	◎	96%	○	90%	○	99%	◎
西部		280	258	▲ 22	284	243	269	110%	◎	94%	○	104%	◎	116%	○			113%	○	97%	○	108%	◎	116%	○
北部		371	331	▲ 40	381	358	338	115%	○	108%	◎	102%	◎	106%	○			113%	○	105%	◎	104%	◎	107%	○

地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保の内容

事業名	単位	平成28年度 計画数値 A ニーズ量	B 確保方策	B-A	実績見込み C 実際のニーズ量（利用希望者数）	D 実際の確保方策	E 実際の利用者数	評価 実際のニーズ量／計画上の確保方策 C／B	◎：90%～110% ○：70%～90%又は110%～130% ×：～70%又は130%～	実際の確保方策／計画上の確保方策 D／B	◎：100%～130% ○：70%～100% ×：～70%又は130%～	実際の利用者数／計画上の確保方策 E／B	◎：100%～130% ○：70%～100% ×：～70%又は130%～	実際のニーズ量／実際の確保方策 C／D	◎：70%～100% ○：100%～130% ×：～70%又は130%～	評価コメント	今後の方針	（参考）平成27年度 評価 実際のニーズ量／計画上の確保方 C／B	◎：90%～110% ○：70%～90%又は110%～130% ×：～70%又は130%～	実際の確保方策／計画上の確保方策 D／B	◎：100%～130% ○：70%～100% ×：～70%又は130%～	実際の利用者数／計画上の確保方策 E／B	◎：100%～130% ○：70%～100% ×：～70%又は130%～	実際のニーズ量／実際の確保方策 C／D	◎：70%～100% ○：100%～130% ×：～70%又は130%～
1　時間外保育事業（延長保育）	人	148	148	0	149	149	149	100%	◎	100%	◎	100%	◎	100%	◎	東部地区と西部地区は計画数値を満たしていないが、実際の利用希望に対しては充足できている。	引き続き提供体制を維持し、必要量の確保に努める。	90%	◎	90%	○	90%	○	100%	◎
(内訳)東部		35	35	0	24	24	24	68%	×	68%	×	68%	×	100%	◎			69%	×	69%	×	69%	×	100%	◎
南部		35	35	0	50	50	50	142%	×	142%	×	142%	×	100%	◎			122%	○	122%	◎	122%	◎	100%	◎
西部		34	34	0	29	29	29	85%	○	85%	○	85%	○	100%	◎			88%	○	88%	○	88%	○	100%	◎
北部		44	44	0	46	46	46	104%	◎	104%	◎	104%	◎	100%	◎			84%	○	84%	○	84%	○	100%	◎
2 放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）		1,387	1,306	▲ 81	1,382	1,341	1,337	105%	◎	102%	◎	102%	◎	103%	○	確保方策としては、合計1,341人分を確保し、目標の1,306人を上回った。 しかし、個々の児童クラブでは受入可能人数を上回るところが発生したため、45名の待機児童が発生した。 どの児童クラブも、3年生以下は条例上の定員の枠を超えても受け入れることを前提に調整をしたが、夏休みについて限界を超えてしまい、3年生の受入れができなかった児童クラブがあった。 一宮東部小学校、一宮南部小学校、国府小学校、萩小学校については、Ｄ／Ｂ、Ｃ／Ｄの評価が"×"で、過剰に確保方策を進めているように見受けられるが、部屋単位で確保方策を進めるため、ニーズの少ない小学校等ではやむを得ない。	施設の拡充と職員の確保をさらに推進する。 施設の拡充については小学校内の部屋を基本として小学校と協議をする。 職員の確保については処遇の改善や勤務シフトの見直しを行う。	95%	◎	102%	◎	94%	○	93%	◎
小学１～３年生		1,141			1,142		1,125																		
小学４～６年生		246			240		212																		
（内訳）東部		321	319	▲ 2	313	326	305	98%	◎	102%	◎	95%	○	96%	◎			87%	○	101%	◎	85%	○	86%	◎
小学１～３年生		266			268		266																		
小学４～６年生		55			45		39																		
豊川小学校		42	40	▲ 2	41	35	41	102%	◎	87%	○	102%	◎	117%	○			97%	◎	87%	○	97%	○	111%	○
小学１～３年生		35			35		35																		
小学４～６年生		7			6		6																		
東部小学校		64	64	0	57	63	57	89%	○	98%	○	89%	○	90%	◎			73%	○	98%	○	73%	○	74%	◎
小学１～３年生		53			53		53																		
小学４～６年生		11			4		4																		
桜木小学校		67	67	0	72	76	72	107%	◎	113%	◎	107%	◎	94%	◎			94%	◎	113%	◎	94%	○	82%	◎
小学１～３年生		55			59		59																		
小学４～６年生		12			13		13																		
豊小学校		64	64	0	51	35	43	79%	○	54%	×	67%	×	145%	×			85%	○	54%	×	73%	○	157%	×
小学１～３年生		53			41		39																		
小学４～６年生		11			10		4																		
一宮東部小学校		26	26	0	30	44	30	115%	○	169%	×	115%	◎	68%	×			103%	◎	162%	×	103%	◎	63%	×
小学１～３年生		22			22		22																		
小学４～６年生		4			8		8																		
一宮西部小学校		42	42	0	44	40	44	104%	◎	95%	○	104%	◎	110%	○			80%	○	95%	○	80%	○	85%	◎
小学１～３年生		35			43		43																		
小学４～６年生		7			1		1																		
一宮南部小学校		16	16	0	18	33	18	112%	○	206%	×	112%	◎	54%	×			88%	○	194%	×	88%	○	45%	×
小学１～３年生		13			15		15																		
小学４～６年生		3			3		3																		
（内訳）南部		327	298	▲ 29	353	273	331	118%	○	91%	○	111%	◎	129%	○			95%	◎	87%	○	95%	○	109%	○
小学１～３年生		273			260		250																		
小学４～６年生		54			93		81																		
牛久保小学校		40	40	0	49	41	46	122%	○	102%	◎	115%	◎	119%	○			77%	○	72%	○	77%	○	106%	○
小学１～３年生		33			42		39																		
小学４～６年生		7			7		7																		
中部小学校		99	80	▲ 19	96	72	81	120%	○	90%	○	101%	◎	133%	×			105%	◎	90%	○	105%	◎	116%	○
小学１～３年生		83			71		67																		
小学４～６年生		16			25		14																		
天王小学校		50	40	▲ 10	45	35	41	112%	○	87%	○	102%	◎	128%	○			80%	○	87%	○	80%	○	91%	◎
小学１～３年生		42			33		30																		
小学４～６年生		8			12		11																		
小坂井東小学校		53	53	0	70	50	70	132%	×	94%	○	132%	×	140%	×			98%	◎	94%	○	98%	○	104%	○
小学１～３年生		44			50		50																		
小学４～６年生		9			20		20																		
小坂井西小学校		85	85	0	93	75	93	109%	◎	88%	○	109%	◎	124%	○			101%	◎	88%	○	101%	◎	114%	○
小学１～３年生		71			64		64																		
小学４～６年生		14			29		29																		

事業名	単位	平成28年度 計画数値 A ニーズ量	B 確保方策	B-A	実績見込み C 実際のニーズ量（利用希望者数）	D 実際の確保方策	E 実際の利用者数	評価 実際のニーズ量／計画上の確保方策 C／B	◎:90%～110% ○:70%～90%又は110%～130% ×:～70%又は130%～	実際の確保方策／計画上の確保方策 D／B	◎:100%～130% ○:70%～100% ×:～70%又は130%	実際の利用者数／計画上の確保方策 E／B	◎:100%～130% ○:70%～100% ×:～70%又は130%～	実際のニーズ量／実際の確保方策 C／D	◎:70%～100% ○:100%～130% ×:～70%又は130%～	評価コメント	今後の方針	（参考）平成27年度 評価 実際のニーズ量／計画上の確保方 C／B	◎:90%～110% ○:70%～90%又は110%～130% ×:～70%又は130%～	実際の確保方策／計画上の確保方策 D／B	◎:100%～130% ○:70%～100% ×:～70%又は130%～	実際の利用者数／計画上の確保方策 E／B	◎:100%～130% ○:70%～100% ×:～70%又は130%～	実際のニーズ量／実際の確保方策 C／D	◎:70%～100% ○:100%～130% ×:～70%又は130%～
（内訳）西部	人	275	259	▲ 16	293	329	280	113%	○	127%	◎	108%	◎	89%	◎			117%	○	131%	×	117%	◎	89%	◎
小学１～３年生		229			233		229																		
小学４～６年生		46			60		51																		
国府小学校		46	40	▲ 6	51	76	51	127%	○	190%	×	127%	◎	67%	×			132%	×	190%	×	132%	×	69%	×
小学１～３年生		38			44		44																		
小学４～６年生		8			7		7																		
御油小学校		61	61	0	59	46	58	96%	◎	75%	○	95%	○	128%	○			104%	◎	75%	○	104%	◎	139%	×
小学１～３年生		51			50		49																		
小学４～６年生		10			9		9																		
萩小学校		18	18	0	13	59	13	72%	○	327%	×	72%	○	22%	×			130%	○	295%	×	130%	◎	44%	×
小学１～３年生		15			9		9																		
小学４～６年生		3			4		4																		
長沢小学校		31	31	0	40	26	30	129%	○	83%	○	96%	○	153%	×			90%	◎	83%	○	90%	○	107%	○
小学１～３年生		26			29		26																		
小学４～６年生		5			11		4																		
赤坂小学校		40	30	▲ 10	44	25	42	146%	×	83%	○	140%	×	176%	×			143%	×	83%	○	143%	×	172%	×
小学１～３年生		33			36		36																		
小学４～６年生		7			8		6																		
御津北部小学校		31	31	0	25	17	25	80%	○	54%	×	80%	○	147%	×			135%	×	85%	○	135%	×	158%	×
小学１～３年生		26			20		20																		
小学４～６年生		5			5		5																		
御津南部小学校		48	48	0	61	80	61	127%	○	166%	×	127%	◎	76%	◎			108%	◎	166%	×	108%	◎	65%	×
小学１～３年生		40			45		45																		
小学４～６年生		8			16		16																		
（内訳）北部		464	430	▲ 34	423	413	421	98%	◎	96%	○	97%	○	102%	○			89%	○	94%	○	86%	○	94%	◎
小学１～３年生		373			381		380																		
小学４～６年生		91			42		41																		
三蔵子小学校		110	110	0	94	131	94	85%	○	119%	◎	85%	○	71%	◎			76%	○	118%	◎	76%	○	64%	×
小学１～３年生		89			87		87																		
小学４～６年生		21			7		7																		
金屋小学校		40	40	0	36	35	36	90%	◎	87%	○	90%	○	102%	○			105%	◎	87%	○	105%	◎	120%	○
小学１～３年生		32			30		30																		
小学４～６年生		8			6		6																		
千両小学校		30	30	0	32	33	32	106%	◎	110%	◎	106%	◎	96%	◎			66%	×	110%	◎	66%	×	60%	×
小学１～３年生		24			24		24																		
小学４～６年生		6			8		8																		
八南小学校		138	120	▲ 18	103	91	103	85%	○	75%	○	85%	○	113%	○			78%	○	59%	×	70%	○	132%	×
小学１～３年生		111			97		97																		
小学４～６年生		27			6		6																		
平尾小学校		46	40	▲ 6	35	30	35	87%	○	75%	○	87%	○	116%	○			77%	○	120%	◎	77%	○	64%	×
小学１～３年生		37			31		31																		
小学４～６年生		9			4		4																		
桜町小学校		40	30	▲ 10	46	25	46	153%	×	83%	○	153%	×	184%	×			130%	○	83%	○	130%	◎	156%	×
小学１～３年生		32			44		44																		
小学４～６年生		8			2		2																		
代田小学校		60	60	0	77	68	75	128%	○	113%	◎	125%	◎	113%	○			140%	×	117%	◎	140%	×	119%	○
小学１～３年生		48			68		67																		
小学４～６年生		12			9		8																		
3　子育て短期支援事業	人日	80	80	0	150	150	150	187%	×	187%	×	187%	×	100%	◎	利用件数がかなり増加しているが、ニーズ量に対し、全て事業サービスを提供できている。	引き続き、事業利用希望に対応すべく、予算等の確保を維持していく。	137%	×	137%	×	137%	×	100%	◎

事業名	単位	平成28年度 計画数値 A ニーズ量	B 確保方策	B-A	実績**見込み** C 実際のニーズ量（利用希望者数）	D 実際の確保方策	E 実際の利用者数	評価 実際のニーズ量／計画上の確保方策 C／B	◎:90%～110% ○:70%～90%又は110%～130% ×:～70%又は130%～	実際の確保方策／計画上の確保方策 D／B	◎:100%～130% ○:70%～100% ×:～70%又は130%～	実際の利用者数／計画上の確保方策 E／B	◎:100%～130% ○:70%～100% ×:～70%又は130%～	実際のニーズ量／実際の確保方策 C／D	◎:70%～100% ○:100%～130% ×:～70%又は130%～	評価コメント	今後の方針	（参考）平成27年度 評価 実際のニーズ量／計画上の確保方 C／B	◎:90%～110% ○:70%～90%又は110%～130% ×:～70%又は130%～	実際の確保方策／計画上の確保方策 D／B	◎:100%～130% ○:70%～100% ×:～70%又は130%～	実際の利用者数／計画上の確保方策 E／B	◎:100%～130% ○:70%～100% ×:～70%又は130%～	実際のニーズ量／実際の確保方策 C／D	◎:70%～100% ○:100%～130% ×:～70%又は130%～
4　地域子育て支援拠点事業	人回	103,720	103,720	0	56,444	56,444	56,444	54%	×	54%	×	54%	×	100%	◎	児童館及びつどいの広場の利用者のうち、保護者を含まず、０歳～２歳児の方を集計しているが、昨年同様、計画数値と比べるとかなり下回っている。 その中で、西部に関しては、あかさか児童館が再開したため、昨年度より数値が伸びた。 また、北部は、つどいの広場があるため、他地区と比べ数値が高くなっている。	昨年度比で増加の見込みであるため、前年度に引き続きサービス内容向上を図りつつ、０～２歳児を連れた保護者が利用しやすいよう工夫に努める。 計画数値は、このままとし、当面推移を見守る。	50%	×	50%	×	50%	×	100%	◎
(内訳)東部	人回	23,878	23,878	0	5,874	5,874	5,874	24%	×	24%	×	24%	×	100%	◎			25%	×	25%	×	25%	×	100%	◎
南部	人回	24,947	24,947	0	10,944	10,944	10,944	43%	×	43%	×	43%	×	100%	◎			42%	×	42%	×	42%	×	100%	◎
西部	人回	22,789	22,789	0	10,461	10,461	10,461	45%	×	45%	×	45%	×	100%	◎			35%	×	35%	×	35%	×	100%	◎
北部	人回	32,106	32,106	0	29,165	29,165	29,165	90%	◎	90%	○	90%	○	100%	◎			85%	○	85%	○	85%	○	100%	◎
5　幼稚園における一時預かり事業	人日	17,614	17,614	0	32,377	32,377	32,377	183%	×	183%	×	183%	×	100%	◎	ニーズ量に対しては各幼稚園で実施している預かり保育の提供体制で充足できている。	現状の提供体制を維持・継続できるように幼稚園と調整を図っていく。	169%	×	169%	×	169%	×	100%	◎
(内訳)１号認定	人日	10,754																							
２号認定	人日	6,860																							
6　保育所その他の場所での一時預かり事業	人日	10,914	7,600	▲ 3,314	－	7,501	7,501			98%	○	98%	○			一時預かりは、計画を下回る利用者数となった。また、利用者数は、昨年度と比較して150名程度減少している。 子育て援助活動支援事業(ﾌｧﾐｻﾎﾟ)は、計画よりやや多めの利用があるが、すべて対応している。 子育て短期支援事業(ﾄﾜｲﾗｲﾄｽﾃｲ)は、実績が無い。	一時預かりは、実施園や受入クラス数を拡充し、必要量を確保していく。 子育て援助活動支援事業(ﾌｧﾐｻﾎﾟ)は、継続して援助会員を増やし、円滑な事業実施に努める。			115%	◎	115%	◎		
(内訳)一時預かり	人日		6,750			6,596	6,596			97%	○	97%	○							117%	◎	117%	◎		
子育て援助活動支援事業	人日		850			905	905			106%	◎	106%	◎							104%	◎	104%	◎		
子育て短期支援事業	人日		0			0	0																		

事業名	単位	平成28年度 計画数値 A ニーズ量	B 確保方策	B-A	実績**見込み** C 実際のニーズ量（利用希望者数）	D 実際の確保方策	E 実際の利用者数	評価 実際のニーズ量／計画上の確保方策 C／B	◎：90%～110% ○：70%～90%又は110%～130% ×：～70%又は130%～	実際の確保方策／計画上の確保方策 D／B	◎：100%～130% ○：70%～100% ×：～70%又は130%～	実際の利用者数／計画上の確保方策 E／B	◎：100%～130% ○：70%～100% ×：～70%又は130%～	実際のニーズ量／実際の確保方策 C／D	◎：70%～100% ○：100%～130% ×：～70%又は130%～	評価コメント	今後の方針	（参考）平成27年度 評価 実際のニーズ量／計画上の確保方 C／B	◎：90%～110% ○：70%～90%又は110%～130% ×：～70%又は130%～	実際の確保方策／計画上の確保方策 D／B	◎：100%～130% ○：70%～100% ×：～70%又は130%～	実際の利用者数／計画上の確保方策 E／B	◎：100%～130% ○：70%～100% ×：～70%又は130%～	実際のニーズ量／実際の確保方策 C／D	◎：70%～100% ○：100%～130% ×：～70%又は130%～
7　病児・病後児保育事業	人日	1,439	600	▲ 839	476	600	501	79%	○	100%	◎	83%	○	79%	◎	計画どおり600人分を確保したが、実際の利用者は501人の見込み。 実際のニーズ量は、利用登録をした人数とした。 実際のニーズ量に比べ実際の利用者数が多いのは、登録した方が複数回利用されたため。	数値上は、ニーズ量に対し確保方策に余裕があるが、実際には利用時期に偏りがあるため、余裕がある状態とは言えない。 そのため、計画期間中にもう１箇所施設を確保することを予定どおり進める。	69%	×	100%	◎	72%	○	69%	×
8　ファミリー・サポート・センター事業（就学児童のみ）	人日	1,624	1,624	0	994	994	994	61%	×	61%	×	61%	×	100%	◎	児童クラブの終了時間が19時まで延長されたり、高頻度に利用されていた会員が都合により利用されなくなった等の理由で、前年度より利用者数が少なくなっている。	継続して周知を図るとともに、援助会員の登録を増やし、円滑な事業実施に努める。 他のサービス拡充などにより、計画と実績との差が開いてきたが、計画は変更せず、同事業利用の周知・増加を図る。	76%	○	76%	○	76%	○	100%	◎
9　利用者支援事業	か所	1	1	0	2	2	2	200%	×	200%	×	200%	×	100%	◎	子育て支援センターにおいて基本型を、保健センターにおいて母子保健型の事業を開始した。計画策定後に母子保健型を実施することを決定したため、計画数値を上回った。 実態に合うよう計画を見直した。	基本型と母子保健型の連携をさらに深め、気になる家庭を中心に切れ目のない支援を行う。 また、地域の子育て支援関係者との連携もさらに深めていく。								

事業名	単位	平成28年度 計画数値 A ニーズ量	B 確保方策	B-A	実績**見込み** C 実際のニーズ量（利用希望者数）	D 実際の確保方策	E 実際の利用者数	評価 実際のニーズ量／計画上の確保方策 C／B	◎：90%～110% ○：70%～90%又は110%～130% ×：～70%又は130%～	実際の確保方策／計画上の確保方策 D／B	◎：100%～130% ○：70%～100% ×：～70%又は130%～	実際の利用者数／計画上の確保方策 E／B	◎：100%～130% ○：70%～100% ×：～70%又は130%～	実際のニーズ量／実際の確保方策 C／D	◎：70%～100% ○：100%～130% ×：～70%又は130%～	評価コメント	今後の方針	（参考）平成27年度 評価 実際のニーズ量／計画上の確保方 C／B	◎：90%～110% ○：70%～90%又は110%～130% ×：～70%又は130%～	実際の確保方策／計画上の確保方策 D／B	◎：100%～130% ○：70%～100% ×：～70%又は130%～	実際の利用者数／計画上の確保方策 E／B	◎：100%～130% ○：70%～100% ×：～70%又は130%～	実際のニーズ量／実際の確保方策 C／D	◎：70%～100% ○：100%～130% ×：～70%又は130%～
10　妊婦健康診査事業	件	23,142	23,142	0	20,693	20,693	20,693	89%	○	89%	○	89%	○	100%	◎	妊婦健康診査の受診券は１人14回分で発行している。 妊娠届出の減少により、利用者が減ってきている。	今後も継続して、医療機関と連携して、妊娠期に支援が必要な妊婦に対して早期支援を行う。	77%	○	77%	○	77%	○	100%	◎
11　乳児家庭全戸訪問事業	人	1,653	1,653	0	1,613	1,613	1,613	97%	◎	97%	○	97%	○	100%	◎	おおよそ生後２か月までに、出生児の家庭訪問を行っている。 出生数の減少により対象者が減少している。	今後も継続してすべての対象者に家庭訪問を行う。	100%	◎	100%	◎	100%	◎	100%	◎
12　養育支援訪問事業	回	390	390	0	600	600	600	153%	×	153%	×	153%	×	100%	◎	平成27年度から、それまでの生後4ヵ月までの訪問を1歳になるまでに拡充した。 今年度も引き続き実施し、養育に支援が必要な母親との信頼関係構築と出産後の母子のニーズ把握に成果が現れている。	引き続き、養育に支援が必要な家庭に対し、子が１歳になるまで家庭訪問を実施する。	153%	×	153%	×	153%	×	100%	◎

※計画策定時にニーズ量(見込み)よりも確保方策の方が少ないものについては、計画上、平成31年度末までに達成することとしています。